厚生労働省
広島労働局

広島労働局 健康安全課

Safe Change Work HIROSHIMA

広島県内で外国人労働者の死亡災害が多発しています！

令和８年８月以降外国人労働者の死亡災害が続発！！

令和8年発生　外国人労働者の死亡災害事例

発生月	業種	年齢	経験年数	事故の型	災害発生状況
8月	製造業	20代	6か月	崩壊・倒壊	被災者（特定技能外国人）は、船体に取り付ける飲料用タンクの研磨作業を行っていたところ、当該タンクが倒れ、その下敷きとなった。
9月	製造業	20代	6か月	はさまれ・巻き込まれ	被災者（技能実習生）は、一人で塗料製造作業を行っていたところ、直径1.5m、深さ1.5mのミキサー内において首を挟まれた。
9月	製造業	20代	3か月	はさまれ・巻き込まれ	被災者（技能実習生）は、コンベヤー付近において一人で、堆積した砂などをシャベルで除去していたところ、ベルトコンベヤーのローラーに巻き込まれた。
9月	建設業	20代	7か月	墜落・転落	被災者（技能実習生）は、工場新築工事現場において鉄骨の組立作業中に墜落し、地上へ墜落した際に鉄筋が胴体に刺さり死亡した。

外国人労働者の休業災害も大幅に増加

休業4日以上の死傷災害　令和7年 106人→ 令和8年 **140人**（９月末現在）

↑ 32%増

- **外国人労働者の労働災害の発生率が高い要因**としては、複数のリスクが重なり合っていると考えられます。
  - ①　業務経験が比較的短い　→ **未熟練によるリスク**
  - ②　日本語そのものの理解が不十分
  - ③　コミュニケーション不足により、職場の「危険」の伝達・理解も不足

  外国人労働者に特有のリスク

- **それぞれのリスクに応じた対策の促進が必要**
  - ✓ 未熟練によるリスク
  - ✓ 外国人労働者に特有のリスク

外国人労働者が内容を確実に理解できる方法による雇入れ時教育等の実施の徹底

外国人労働者への教育の徹底に加え、「墜落・転落」「はさまれ・巻き込まれ」対策など基本的な安全対策の徹底が極めて重要です！

広島労働局・労働基準監督署

外国人労働者が内容を確実に理解できる方法による雇入れ時教育等を実施しましょう！

雇入れ時教育等の実施に当たっては、

- ✓ 外国人労働者が、内容を確実に理解できる方法で行う（**母国語や視聴覚教材の使用**）
- ✓ 使用させる機械等、原材料等の危険有害性や取扱方法を**確実に理解**させる
- ✓ 標識、掲示及び表示等に**図解を用いる**、**母国語で**注意喚起語を**表示する**　等が必要

→各種ツール（厚生労働省ウェブサイトで公開）が活用できます！

マンガ・動画教材

業種共通と業種・作業別　安全衛生の基本事項に関する視聴覚教材（マンガ・動画教材）

例）転倒防止の注意：14言語対応
（画像は、日本語・英語）

未熟練労働者に対する安全衛生教育マニュアル

業種別（製造業、陸上貨物運送事業、商業など）の未熟練労働者向け教材等（事業者向けマニュアルと、労働者向けテキスト（複数言語））

例）安全な服装のマニュアル：14言語対応
（画像は、日本語・スペイン語）

外国人労働者に係る安全表示

① 厚労省ＨＰに掲載　② 事業者が自由に作成　③ 事業者が掲示

外国人労働者の安全衛生対策に役立つツール等をご活用ください

外国人労働者の安全衛生管理（手引き、視聴覚教材等）

職場のあんぜんサイト（各種教材等）

人材確保等支援助成金（外国人労働者就労環境整備助成コース）

中小規模事業場安全衛生サポート事業（無料、中災防が実施）

広島労働局・労働基準監督署

（R8.10）